



講演会に21名が参加 「最新の中国事情と世界遺産」

日本中国友好協会本部の田中義教理事長を講師に迎えて、2月25日に開催された講演会には湘南支部の内外から21名が参加しました。講師は時おり笑いを交えた話しぶりで、イタリアに次いで世界で2番目に登録件数が多い中国の世界遺産について、地図や自ら撮影の写真を交えて50分にわたって解説。さらに50分にわたって「今の中国をどう見るか」を主題に、昨年 of 中国共産党大会以降の政治情勢や国民生活などについて幅広くお話しいただきました。

質疑では参加者から「原発はどうなっているのか」「一党支配の下で民主主義はどう進むのか」「現政権には“文革”につながる危うさがあるのではないか」など、多くの質問や意見も出され、ひとつひとつの問題に丁寧に解説、対話していただきました。

なお、開会のあいさつは神奈川県連の大森猛会長、司会は湘南支部の岡崎雄児理事、閉会あいさつは湘南支部の山内幹郎副支部長が努めました。

後日、講演会出席者1名が入会してくれるといううれしいニュースもありました。

ニエ・アル記念広場 清掃活動

4月9日(月) 午前11時～

※毎月第一月曜日に、有志が、中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳(ニエ・アル)の慰霊記念碑のある広場を清掃しています。

中国映画上映会 「北京ヴァイオリン」に涙も

3月19日、藤沢市市民活動推進センターでの中国映画上映会には支部内外から9名が参加して、味わい深い映画をじっくり観賞しました。

上映後には涙を拭う観賞者の姿もあり、今後の上映会への期待も語られました。

湘南支部ホームページ開設!!!

日本中国友好協会湘南支部に待望のホームページが開かれました。まだまだ、整備途上ですが、ぜひご覧ください。

<http://nicchushounan.sakura.ne.jp/index.htm>

*「日中友好協会湘南支部」でも検索できます。

ホームページの構成は以下のようになっています。

■ご挨拶(抜粋)

日本中国友好協会湘南支部のホームページを開設しました。

いま中国は大きく変化しています。変化のスピードも想像以上です。私たちは「理解は絆を強くする」という考えのもとに、草の根レベルで中国の様々な問題について自主的に話し合い、実像を正しく多面的に把握することに努めています。

今後は中国語教室や太極拳、在日中国人との交流、などの活動もおこなっていきたいと考えております。

日本中国友好協会神奈川県連合会湘南支部
支部長代行 牧野光延

■湘南支部の概要

■活動経過と予定

■ニュース履歴

■ご案内チラシ等

■リンク

中国を知るシリーズ <第3回> 東北三省

このコーナーは「理解は絆を強くする」を合言葉に日本中国友好協会が全国的に取り組んでいる「中国百科検定」の公式テキストである「中国百科」から抜粋・加筆してご紹介するものです。

中国を知る機会としてお読みください。

<第3回>東北三省

日本が「満州国」を作った中国東北部は新中国建設後、その半分は内モンゴル自治区となったが、人工のほとんどが集中する残りの地域には「東北三省」と呼ばれる3つの省がある。

■黒龍江省

清朝末期のロシアとの不平等条約によってアムール川北方、沿海州地区を失って縮小したものの、東北部では最大の面積を誇る。人口約3,800万人。

省都はハルビン市で、省人口の90%が漢族。その他に満州族、モンゴル族、朝鮮族などが暮らしている。

最北端のため冬季の農耕は不可能であるが、一人あたりの耕地面積の広さから大農法による黒豆、大豆、小豆などの生産が盛んである。

ハルビン市郊外の平房地区には「悪魔の飽食」として知られる旧日本軍の細菌戦部隊＝731部隊の施設跡に博物館が開設されているほか、ロシアとの国境沿いには虎頭要塞や東寧要塞など旧日本軍の巨大な戦跡が残っている。また、チチハルでは戦後も日本軍の毒ガス兵器による被害が生じており、被害者の救援と遺棄化学兵器の撤収が日中間の課題となっている。

■吉林省

省都・長春が「満州国」の首都・新京であったため、当時の首都機能に関わる歴史的記念物が多数残っている。戦後長らく日本語教育の中心地となってきたことも、この歴史と関わっている。人口は約2,800万人。

民族的には91%を占める漢族の他、満州族、モンゴル族、朝鮮族、回族などがいるが、特に朝鮮族は省最東端に「延辺朝鮮族自治州」を持ち、当州人口の約3割、100数十万人を占めている。この地への朝鮮族の進出は1910年の日本による韓国併合の結果であり、当時は「間島」と呼ばれた。

北朝鮮との国境に近い集安には世界遺産の高句麗遺跡群があり、有名な「高句麗好太王碑」もここにある。

■遼寧省

省都・瀋陽市が東北三省の中心地となっている他、日本企業の集中する大連、対北朝鮮貿易の中心地・丹東などを持つ。人口約4,400万人。

清朝の起源はホトアラに興った満州族王朝の「後金」であり、明朝を倒して北京に遷都するまでは盛京（現在の瀋陽）に都を置いていた。そのため、太祖ヌルハチや太宗ホンタイジの陵墓が瀋陽市内に存し、故宮ともども世界遺産に登録されているほか、満州事変勃発の地には九一八歴史博物館があり、撫順市には平頂山事件記念館や戦犯管理所博物館もある。

省人口の84%が漢族、13%が満州族。

<次回は華北地方>

好評募集中！ 2018年の日本中国友好協会神奈川県連合会の旅 敦煌・上海

■5月14日～4泊5日 ■228,000円 ※ご希望の方は資料をご請求ください。03-5411-7218

- シルクロードの要衝・東西文明の結節点・砂漠のオアシス都市＝敦煌にじっくり3泊
- 世界遺産の莫高窟に加え、榆林窟、西千仏洞も見学 華麗で幻想的なショー観賞も
- 唐詩に詠まれた陽關、世界遺産の玉門関、砂漠に消え行く漢代の万里の長城も見学
- 上海では上海事変記念館や魯迅ゆかりの地を訪ね、日中不再戦・友好の思いを新たに

